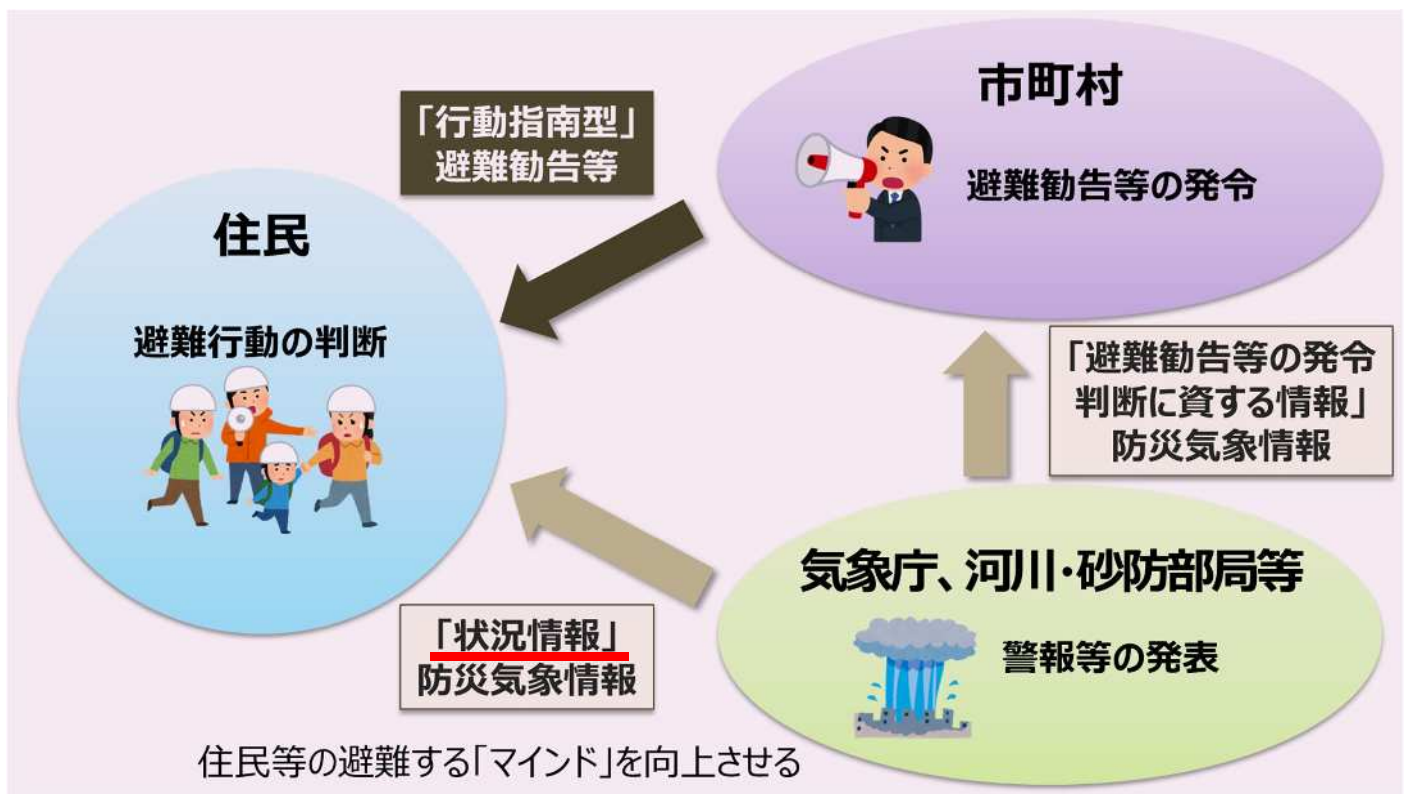


自助…自らの命は自ら守る！

「状況情報」とは、住民のみなさんが主体的に避難行動を判断するために参考となるものです。

防災気象情報は、国や都道府県等が発表するもので、市町村等が「行動指南型」の避難勧告等発令の判断を支援する役割と、住民が主体的に避難行動をとるための参考となる「状況情報」の役割があります。防災気象情報が発表されても市町村等から避難勧告が出されない場合もありますので、防災気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとるように心がけましょう。



災害時における住民へ避難の呼び掛けには、「【警戒レベル3】避難準備・高齢者等避難開始」、「【警戒レベル4】避難勧告」、「【警戒レベル4】避難指示（緊急）」の3種類があります。

危険度や切迫性により、高齢者等避難開始 ⇒ 避難勧告 ⇒ 避難指示（緊急）の順に高くなります。

これらの避難情報は、市町村等が防災気象情報を判断してそれぞれが発表されるため、住民のみなさんに今起きている実際の状況（気象状況等）とのタイムラグがあり、避難情報が発令される前に災害が起きてしまうことがあります。そのため、住民は防災気象情報の内容を普段から理解を深めるとともに市町村から出される情報を待つことなく自らが判断して早期に避難するようにしましょう。